

商工中金景況調査

2020年2月調査結果



人を思う。未来を思う。

商工中金

1. 目的・調査事項	<ul style="list-style-type: none">●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握●調査事項<ul style="list-style-type: none">(1) 景況感 今月及び先行き(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き(3) トピックス（海外経済の見通し）
2. 回答期間・調査頻度	<ul style="list-style-type: none">●回答期間 2020年2月1日～28日（本件が第1回調査）●調査頻度 四半期毎（当面）
3. 対象企業	当金庫取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数897社 （アンケート依頼数3,313社、回答率27.1%）
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 産業調査部 織田 百武（TEL：03-3246-9370） Eメールアドレス chosa@gm.shokochukin.co.jp

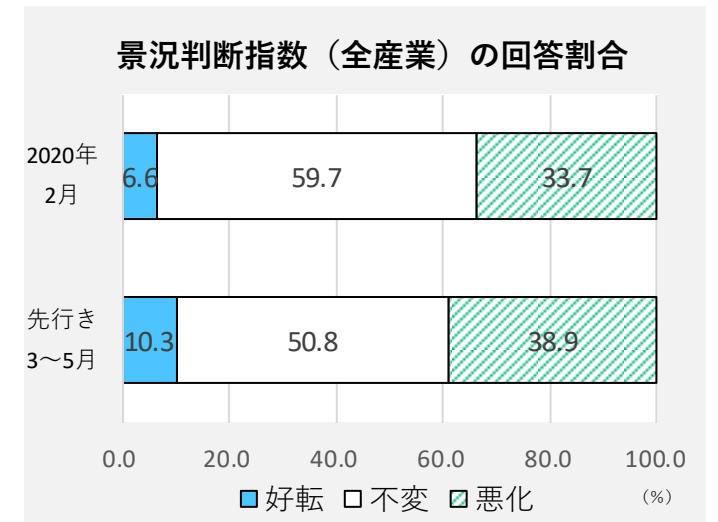
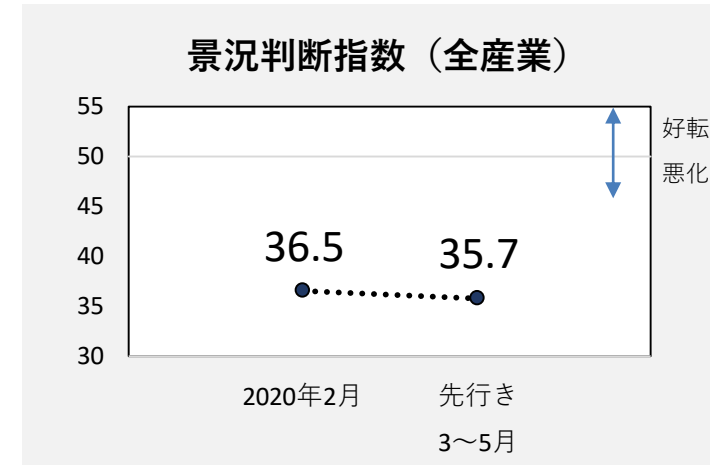
<2020年2月の景況感>

2月の景況判断指数は36.5

今月の景況判断指数（全産業）は36.5
先行きの景況判断指数は35.7
（今月比▲0.8ポイント）

- 2月・・・「好転」6.6%、「不変」59.7%
「悪化」33.7%。
- 先行き・・・「好転」10.3%、「不変」50.8%
「悪化」は38.9%。

（注）景況判断指数の算出式についてはP.15を参照



<2020年2月の景況感>

今月、最も景況判断指数が高い業種は建設業（48.4）

最も低い業種は鉄・非鉄（19.6）

業種名	今月	先行き	先行き—今月	回答数（今月）
全産業	36.5	35.7	▲ 0.8	（ 894 ）
製造業	34.1	35.3	1.2	（ 400 ）
非製造業	38.4	36.1	▲ 2.3	（ 494 ）
食料品	33.3	46.7	13.4	（ 30 ）
化学	40.0	41.4	1.4	（ 35 ）
鉄・非鉄	19.6	30.4	10.8	（ 28 ）
印刷業	38.0	28.0	▲ 10.0	（ 25 ）
金属製品	32.3	35.4	3.1	（ 82 ）
はん用、生産用、業務用機械	35.2	32.8	▲ 2.4	（ 64 ）
電気機器	48.1	25.0	▲ 23.1	（ 26 ）
輸送用機器	33.3	33.9	0.6	（ 30 ）
その他製造業	32.5	38.1	5.6	（ 80 ）
建設業	48.4	43.8	▲ 4.6	（ 32 ）
卸売業	35.6	34.1	▲ 1.5	（ 149 ）
小売業	39.5	36.0	▲ 3.5	（ 57 ）
運輸業	35.5	37.2	1.7	（ 165 ）
その他非製造業	44.0	34.6	▲ 9.4	（ 91 ）

（注）その他製造業は 紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品、その他製造業を含む
その他非製造業は 飲食・宿泊業、情報通信業、不動産・物品賃貸業、サービス業を含む

コロナウイルス

- コロナウイルスによる中国経済の動向が弊社事業にとっても悪影響を及ぼしています。まず、政府が出勤禁止にしているため工場が動かず生産がストップしてしまっている。また、旧正月前に生産済みの商品ですら、港も閉鎖されているため輸出入業務も停止して、なんともならない状況下にあります。（自動車用品卸、岡山）
- 新型コロナウイルスの影響によりキャンセルの問い合わせが増えている。すでにキャンセルも入っており、売上の下方修正しなければならない。（スポーツ施設運営、大阪）

米中貿易摩擦

- 売上高の前年同期比は米中貿易摩擦の影響で大きく下がっている。中国の景気悪化から、電線の売上高に大きな影響のある銅価が上がりづらくなっているため、今後の動向に目が離せない。国内の電気工事の受注動向が上向く気配があり、年後半からの売上が期待される。（電気機械器具卸、東京）

働き方改革・人員不足

- 有給休暇5日取得義務化への対応にも苦労している状況。今後4年後に36協定の月45時間規制が建設業にも適用された場合に備えて、賃金体系の見直し等対応に追われる。（建設機械器具賃貸、東京）

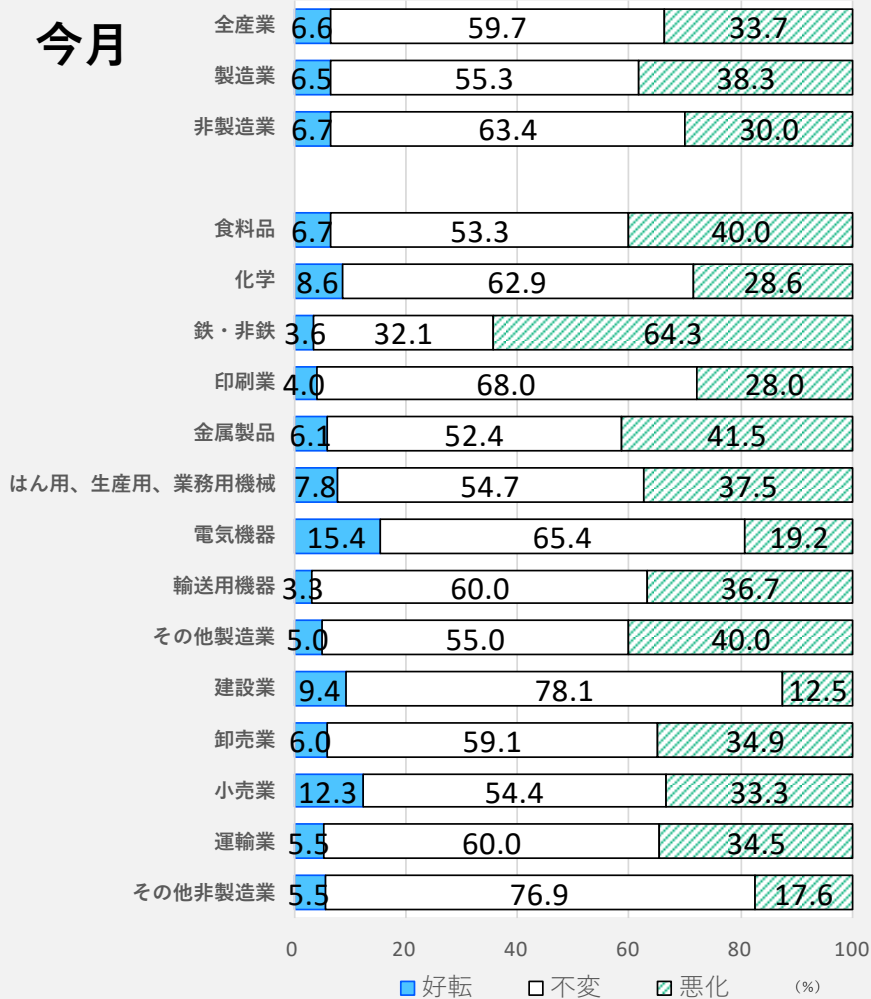
5G関連

- 5G関連の受注が入り始めている。これからどれだけ伸びてくるか期待している。関連して、半導体製造設備やプリント基板露光装置の製造メーカーの動きも注視している。（電気機械器具製造、神奈川）

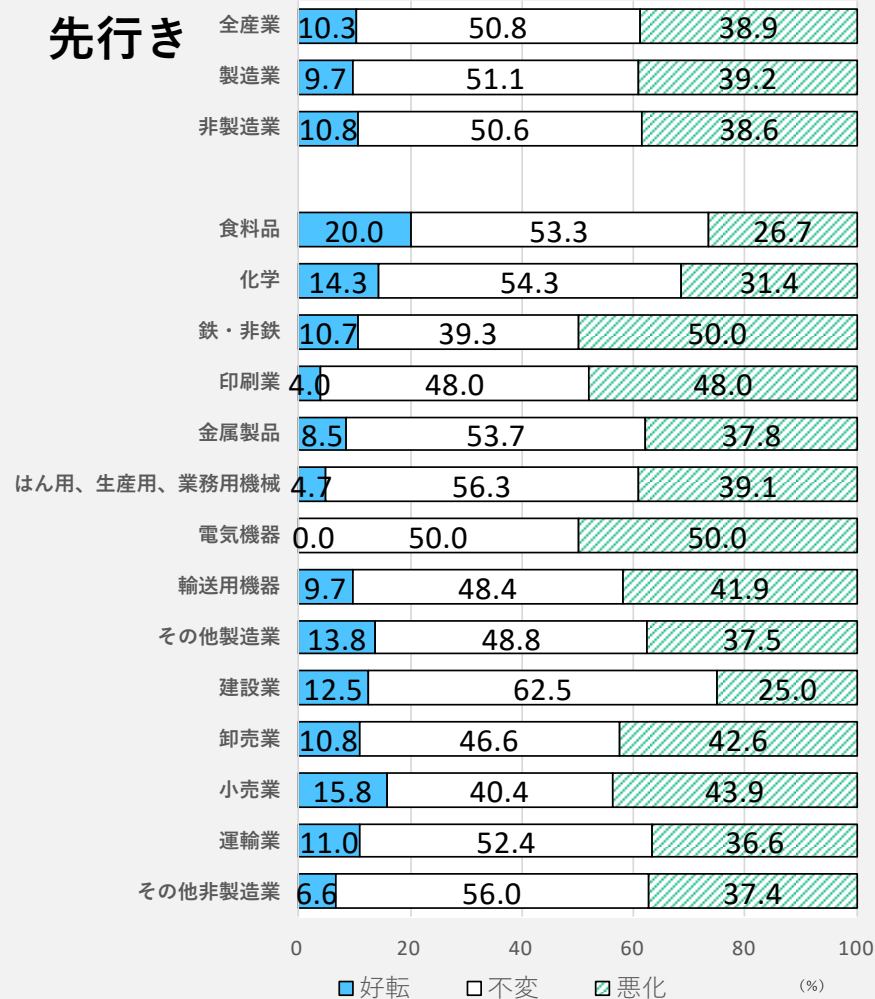
<2020年2月の景況感> 業種別の回答構成比

先行きは好転と悪化が二極化の傾向あり

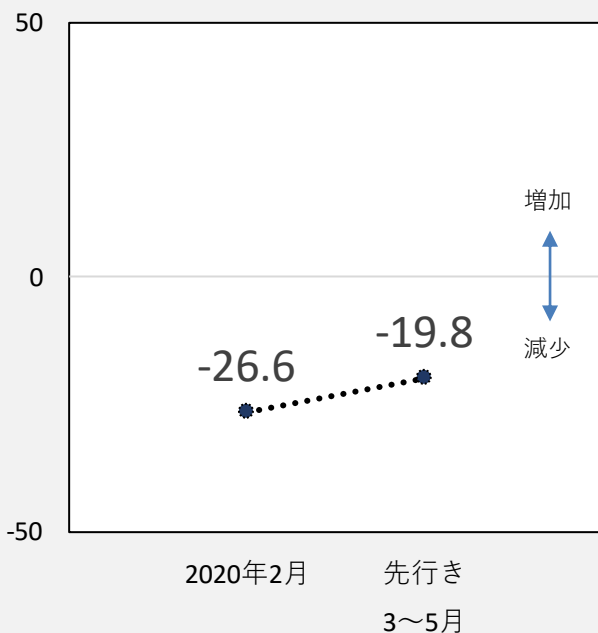
今月



先行き



売上DI (全産業)



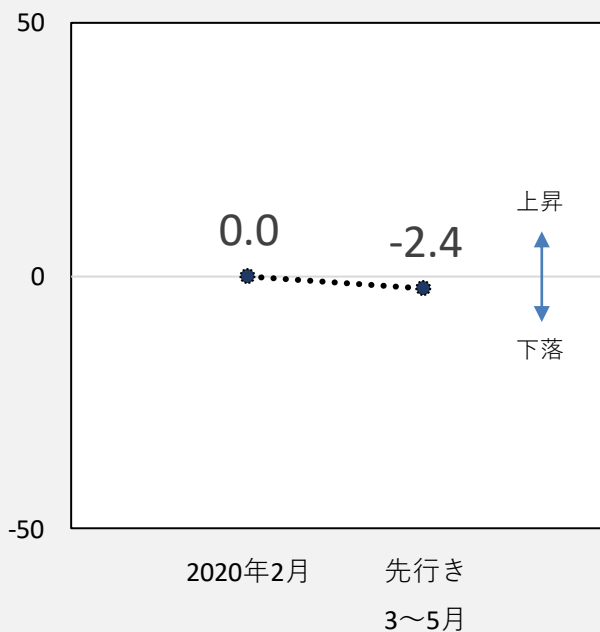
(DIの定義はP.15に記載)

売上DI

2020年	今月	先行き
	2月	3~5月
全産業	▲ 26.6	▲ 19.8
製造業	▲ 30.9	▲ 24.2
非製造業	▲ 23.1	▲ 16.3

食料品	▲ 36.7	0.0
化学	▲ 28.6	▲ 11.4
鉄・非鉄	▲ 53.6	▲ 35.7
印刷業	▲ 28.0	▲ 32.0
金属製品	▲ 28.0	▲ 25.6
はん用、生産用、業務用機械	▲ 21.9	▲ 28.1
電気機器	▲ 11.5	▲ 42.3
輸送用機器	▲ 25.8	▲ 22.6
その他製造業	▲ 41.3	▲ 22.5
建設業	6.3	▲ 12.5
卸売業	▲ 30.4	▲ 23.1
小売業	▲ 28.1	▲ 14.0
運輸業	▲ 23.6	▲ 10.3
その他非製造業	▲ 17.6	▲ 18.7

販売価格D I (全産業)



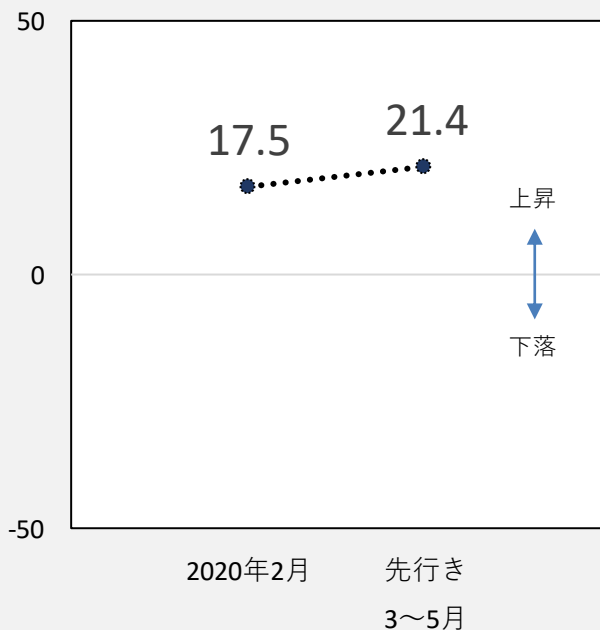
(DIの定義はP.15に記載)

販売価格D I

2020年	今月	先行き見通し
	2月	3~5月
全産業	0.0	▲ 2.4
製造業	▲ 2.5	▲ 7.0
非製造業	2.0	1.4

食料品	10.0	13.3
化学	0.0	0.0
鉄・非鉄	▲ 14.3	▲ 28.6
印刷業	▲ 12.0	▲ 16.0
金属製品	▲ 3.7	▲ 8.6
はん用、生産用、業務用機械	0.0	▲ 11.1
電気機器	▲ 11.5	▲ 23.1
輸送用機器	0.0	▲ 6.5
その他製造業	0.0	2.5
建設業	▲ 3.1	▲ 9.4
卸売業	▲ 8.7	▲ 4.7
小売業	▲ 3.5	▲ 8.8
運輸業	10.6	9.3
その他非製造業	9.9	7.7

仕入価格DI (全産業)



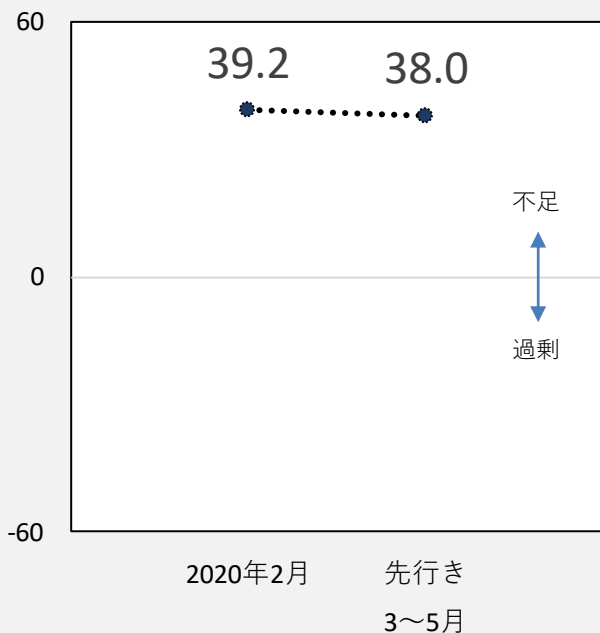
(DIの定義はP.15に記載)

仕入価格DI

2020年	今月	先行き見通し
	2月	3~5月
全産業	17.5	21.4
製造業	14.8	22.7
非製造業	19.6	20.3

食料品	26.7	50.0
化学	8.6	22.9
鉄・非鉄	0.0	▲ 7.1
印刷業	16.0	32.0
金属製品	20.7	19.5
はん用、生産用、業務用機械	15.9	15.9
電気機器	28.0	45.8
輸送用機器	9.7	19.4
その他製造業	8.9	22.8
建設業	25.0	31.3
卸売業	7.4	12.9
小売業	15.8	8.8
運輸業	30.4	25.5
その他非製造業	20.9	26.4

雇用状況DI（全産業）



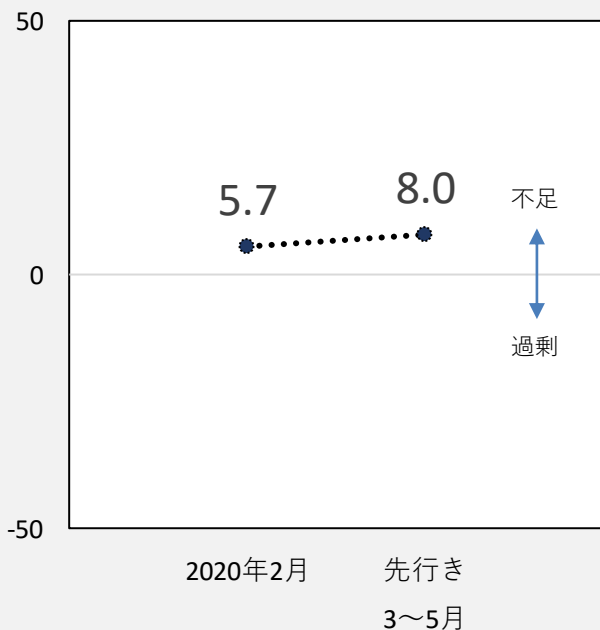
(DIの定義はP.15に記載)

雇用状況DI

2020年	今月	先行き見通し
	2月	3~5月
全産業	39.2	38.0
製造業	24.1	23.6
非製造業	51.3	49.7

食料品	43.3	46.7
化学	28.6	31.4
鉄・非鉄	10.7	0.0
印刷業	24.0	24.0
金属製品	20.7	23.2
はん用、生産用、業務用機械	22.2	20.6
電気機器	15.4	11.5
輸送用機器	16.7	20.0
その他製造業	30.4	27.8
建設業	46.9	40.6
卸売業	28.2	24.8
小売業	52.6	52.6
運輸業	67.7	70.7
その他非製造業	60.4	53.8

生産・営業用設備DI（全産業）



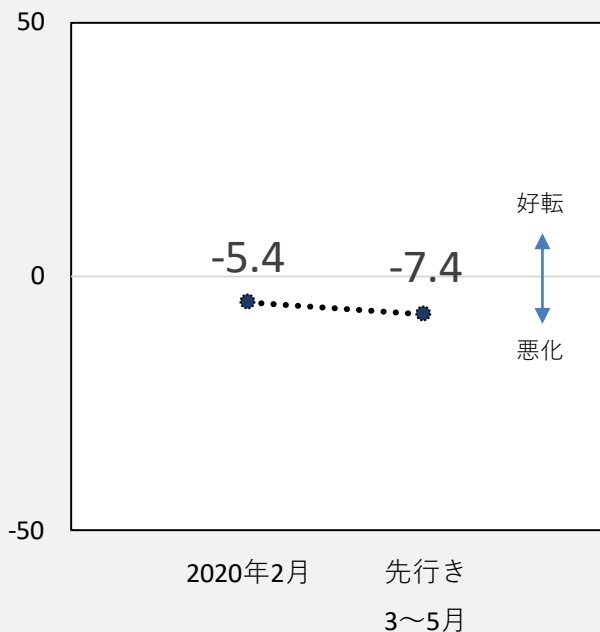
(DIの定義はP.15に記載)

生産・営業用設備DI

2020年	今月	先行き見通し
	2月	3~5月
全産業	5.7	8.0
製造業	5.0	7.5
非製造業	6.3	8.4

食料品	10.0	23.3
化学	8.6	14.3
鉄・非鉄	3.6	0.0
印刷業	8.0	16.0
金属製品	2.4	1.2
はん用、生産用、業務用機械	7.9	4.8
電気機器	0.0	7.7
輸送用機器	9.7	9.7
その他製造業	1.3	6.3
建設業	9.4	9.4
卸売業	2.7	5.5
小売業	0.0	0.0
運輸業	10.4	14.1
その他非製造業	7.8	7.8

資金繰りDI (全産業)



(DIの定義はP.15に記載)

資金繰りDI

2020年	今月	先行き見通し
	2月	3~5月
全産業	▲ 5.4	▲ 7.4
製造業	▲ 9.3	▲ 10.1
非製造業	▲ 2.2	▲ 5.3

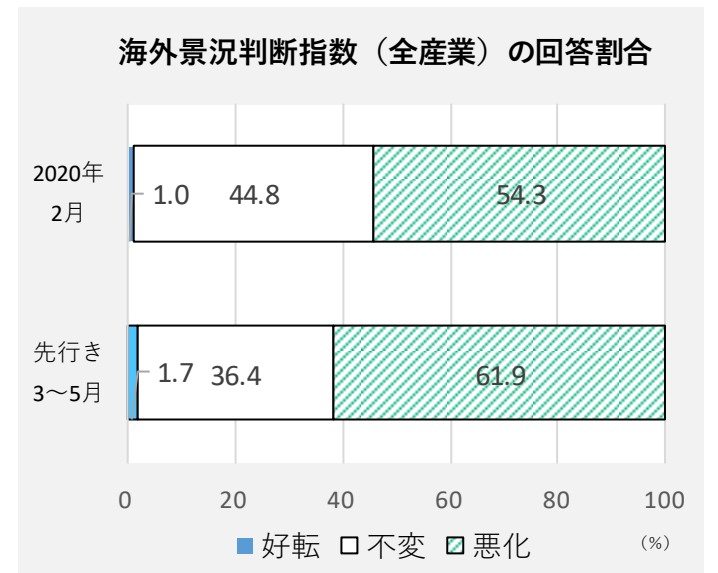
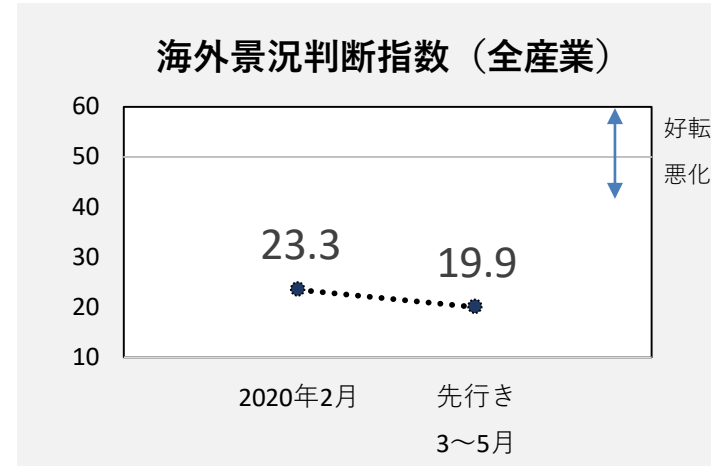
食料品	▲ 10.0	▲ 10.0
化学	▲ 2.9	▲ 2.9
鉄・非鉄	▲ 14.3	▲ 10.7
印刷業	▲ 8.0	▲ 4.0
金属製品	▲ 4.9	▲ 4.9
はん用、生産用、業務用機械	▲ 11.3	▲ 9.7
電気機器	▲ 7.7	▲ 19.2
輸送用機器	▲ 22.6	▲ 32.3
その他製造業	▲ 8.9	▲ 8.9
建設業	18.8	18.8
卸売業	1.3	▲ 4.7
小売業	▲ 5.3	▲ 3.5
運輸業	▲ 4.8	▲ 8.5
その他非製造業	▲ 8.8	▲ 9.9

2月の海外経済の見通しに関する景況判断指数は23.3

**今月の海外経済の見通しに関する
景況判断指数（全産業）は23.3
先行きの景況判断指数は19.9
（今月比▲3.4ポイント）**

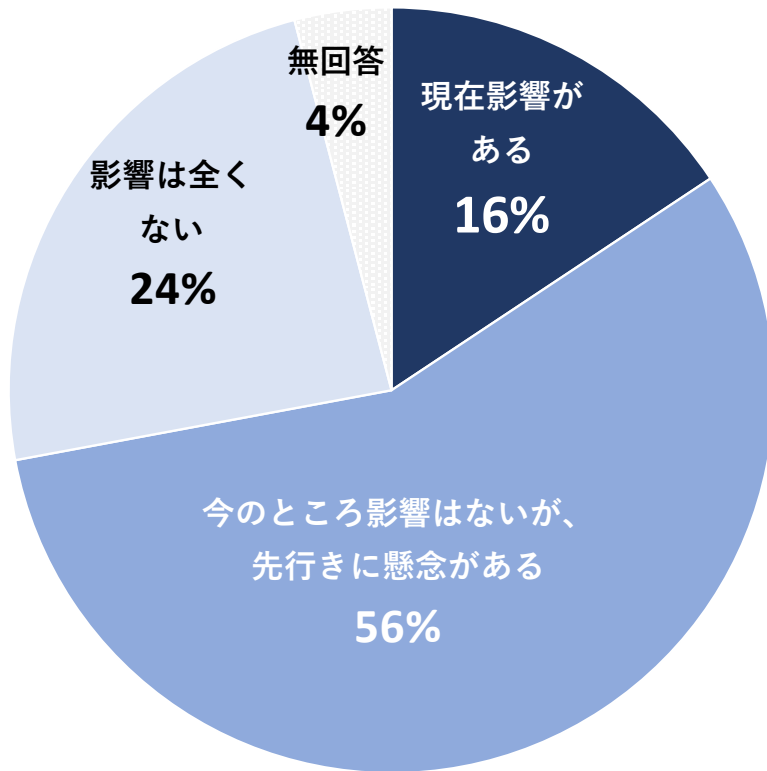
- 2月・・・「好転」1.0%、「不変」44.8%
「悪化」54.3%。
- 先行き・・・「好転」1.7%、「不変」36.4%
「悪化」は61.9%。

（注）景況判断指数の算出式についてはP.15を参照

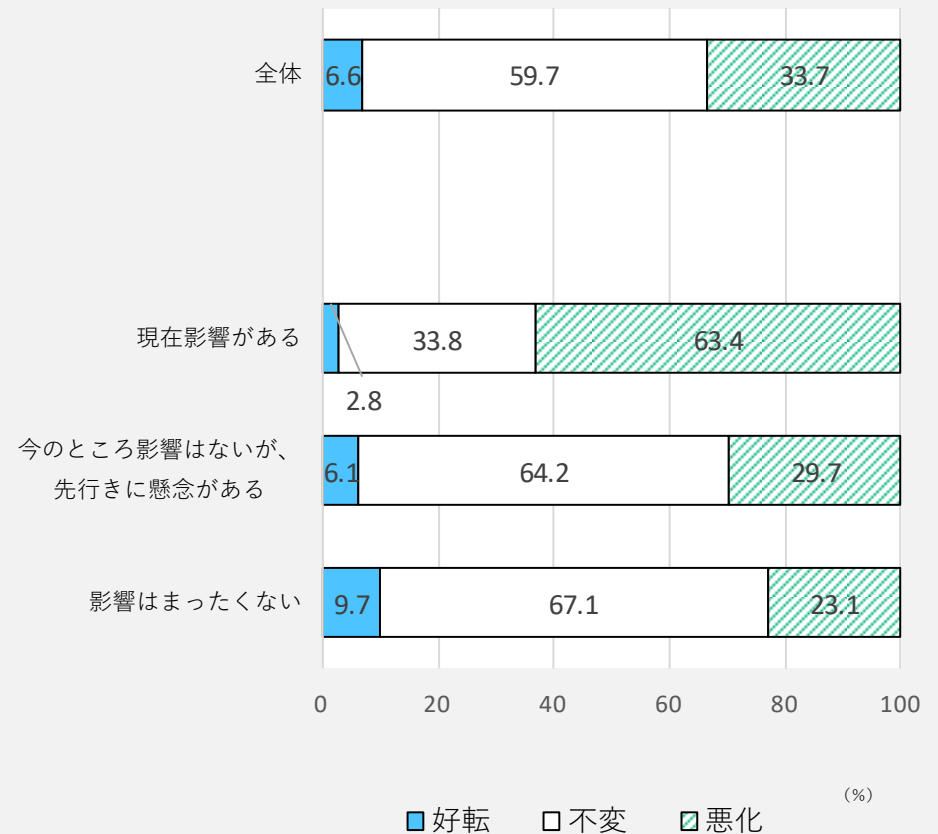


<今月のトピックス 海外経済の見通し／米中貿易交渉が事業へ及ぼす影響>
「現在影響がある」＋「先行きに懸念がある」で7割超

米中貿易交渉が事業へ及ぼす影響
(総回答数906)



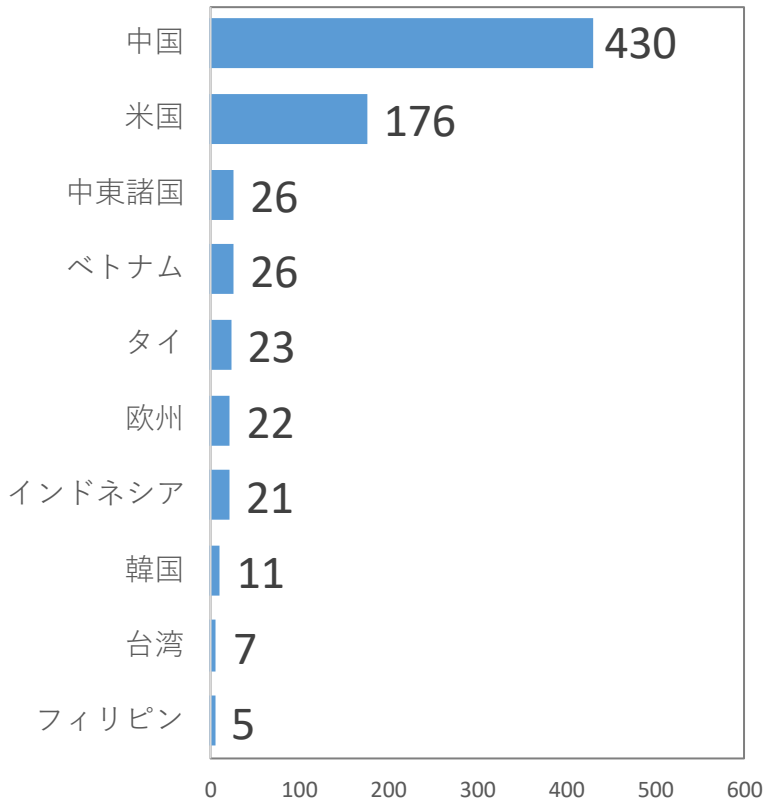
[参考] 米中貿易交渉が及ぼす影響と
今月の景況感 (全産業)



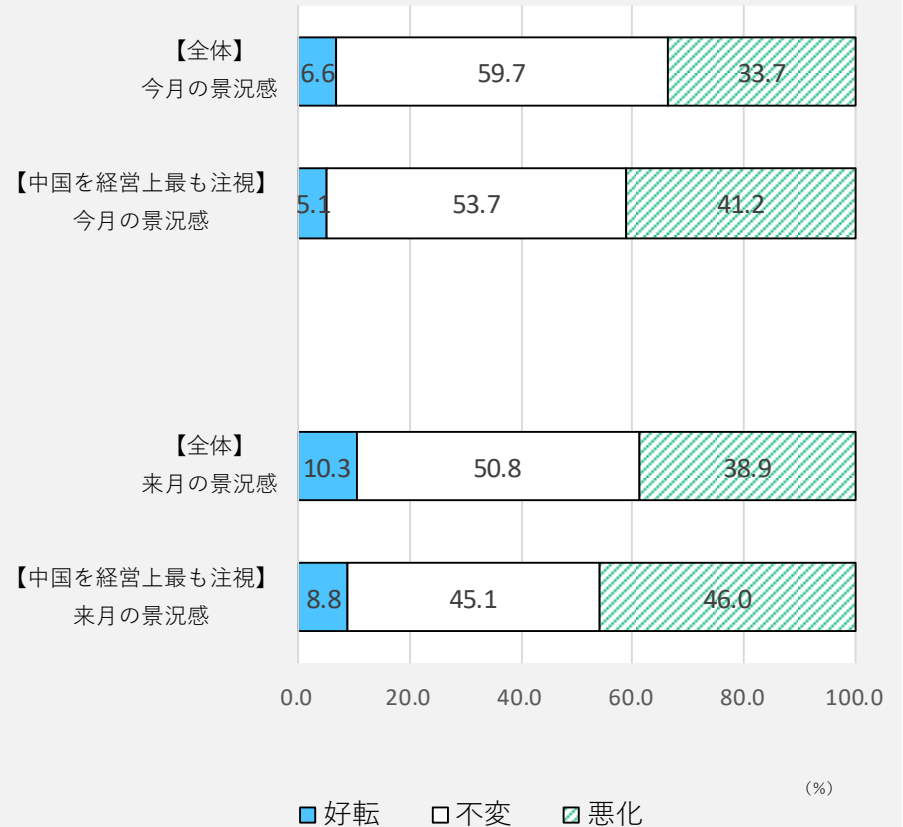


<今月のトピックス 海外経済の見通し／経営上、最も動向を注視している国・地域> 中国が全体の6割を占め第1位

経営上、最も動向を注視している国・地域 上位10か国 (総回答数764)



[参考] 「中国」を経営上最も動向を注視している と回答した企業と景況感 (全産業)



(参考) 景況判断指数と業況判断DIの定義

<p>●景況判断指数</p>	<p>●景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢＝「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。</p> <p>●算出式 景況判断指数＝（（好転企業数×1＋不変企業数×0.5＋悪化企業数×0）÷当該設問への回答企業数）×100。指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が前月より好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が前月より悪化したことを表す。指数の範囲0.0≦景況判断指数≦100.0、50が中立水準</p>
<p>●業況判断DI（Diffusion Indexの略）</p>	<p>●業況判断は、各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する</p> <p>●算出式</p> <p>①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」 ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「悪化」</p> <p>業況判断DI＝「1.」－「3.」の企業割合（％） DIの範囲▲100.0≦業況判DI≦100.0、0が中立水準</p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願い致します。



人を思う。未来を思う。

商工中金